

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： がん細胞の熱エネルギー代謝 ―熱代謝療法の開発―
2. 研究代表者： 川島 雅央（京都大学 大学院医学研究科 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、がん細胞に UCP1 を誘導する分子スイッチを特定し、がん細胞自らに発熱させてがんを治癒に導く“熱代謝療法“という新しい治療法の開発を目指す。フェーズ 1 では、やや進捗に遅れがみられるものの、アイデアが興味深く、今後の発展に結びつく準備が進んでいる。新しい切り口に注目し細胞レベルで現象を確認できている点は評価できる。フェーズ 2 では、UCP1 の発現誘導により細胞の温度を上げることで、がん治療に繋がることを検証し、将来的な臨床への応用展開に繋げることを期待する。転移がんの細胞を特異的に発熱誘導することができる戦略を立てて、臨床への応用展開を進めることにより破壊的イノベーションに繋がる成果が生まれる可能性に期待する。

以上